

# 小・中学校における 特別支援教育の推進について

埼玉県特別支援学級等設置校校長会

# 校長の特別支援教育に関する教職経験

小学校又は中学校の校長自身の特別支援学級、通級による指導や特別支援学校など特別支援教育にかかわる教職経験について、特別支援学級等での教職経験の無い校長は、小学校で70.6%、中学校で75.4% (令和3年度)

- ▶ ※特別支援学級が設置されている学校(小学校、中学校、義務教育学校を含む)は
- ▶ 82.3%(令和2年度 時点)

令和3年度全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会調査

	通級による指導 での教職経験 有	特別支援学級 での教職経験 有	特別支援学校 での教職経験 有	特別支援学級等 での教職経験 無
小学校	4.7%	23.1%	9.6%	70.6%
中学校	1.9%	19.0%	6.5%	75.4%
義務教育学校	0%	17.6%	5.9%	82.4%

令和3年度全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会調査報告書

(全国特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会調査部、令和4年1月)

# 特別支援学校等の児童生徒の増加の状況(H23→R3)



- 直近10年間で義務教育段階の児童生徒数は1割減少する一方で、特別支援教育を受ける児童生徒数はほぼ倍増。
- 特に特別支援学級(2.1倍)、通級による指導(2.0倍)の増加が顕著。

## 義務教育段階の全児童生徒数

(平成23年度)		(令和3年度)
1,054万人	0.9倍	961万人

## 特別支援教育を受ける児童生徒数

28.5万人	1.9倍	53.9万人
2.3%		5.6%

### 特別支援学校

視覚障害 聴覚障害 知的障害  
肢体不自由 病弱・身体虚弱

6.5万人	1.2倍	8.0万人
0.6%		0.8%

### 小学校・中学校

#### 特別支援学級

知的障害 肢体不自由  
身体虚弱 弱視 難聴  
言語障害 自閉症・情緒障害

15.5万人	2.1倍	32.6万人
1.5%		3.4%

#### 通常の学級 (通級による指導)

言語障害 自閉症 情緒障害  
弱視 難聴 学習障害  
注意欠陥多動性障害  
肢体不自由 病弱・身体虚弱

6.5万人	2.0倍	13.3万人
0.6%		1.4%

※平成23年度は公立のみ

※通級による指導を受ける児童生徒数は、令和元年度の値。